

呼吸器外科 『漏斗胸外来』 開設のお知らせ

当院では 2024 年度より呼吸器外科において漏斗胸外来を開設いたしました。

漏斗胸とはみぞおち付近を中心に胸部が陥凹する先天異常であり、見過ごされるほど軽度の変形から、胸壁が背骨に付くぐらい高度なものまで、陥凹の程度は様々です。また、左右対称な場合と非対称性場合があります。変形の割には症状に乏しく、小児期には無症状で経過する 경우가ほとんどですが、高度な変形になると圧迫による心肺機能異常などを合併することがあります。また、成人では易疲労性や運動時呼吸困難などを訴える場合もあります。機能上問題がない場合でも変形に起因する精神発育への影響はことのほか大きく、内向的で活動性の乏しい性格形成に至ることがあり、手術的加療が望まれます。

当院では、バーの挿入を主として漏斗胸の治療を行っております。4 - 5 cmの創部からバーを胸の中に挿入して、バーの反復力を使って胸を内側から押し上げる方法です。胸腔鏡という細いカメラで胸の中を見ながら挿入しますので、肺の損傷なども起こしにくく安全に手術ができます。また、手術後は痛みがご心配だと思います。手術後は鎮痛剤をしっかりと使って痛みを和らげていきます。痛みは我慢するのではなく、我慢できるくらいの痛みでコントロールしていきます。患者様の手術前後の写真を提示します。手術前は陥没していた胸が凹みのない胸に変化しています。胸の形でお悩みの方はぜひ、当院の漏斗胸外来を受診してみてください。

手術前



手術後



「漏斗胸外来」 予約 TEL 03-3972-8197